

平成 29 年度 研究成果報告書
Research Achievement Report FY2017

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジア・アフリカ講座・准教授
氏名 Name	竹原 新
専門分野 Academic Field	イラン民俗学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	イランの口承文芸に関する現地調査資料の基盤整備と民俗学的応用研究
<p>平成 29 年度は、主として次の研究活動を行った。</p> <p>1. イランの口承文芸に関する現地調査資料の基盤整備と民俗学的応用研究</p> <p>前年度に引き続き、科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）による「イランの口承文芸に関する現地調査資料の基盤整備と民俗学的応用研究」（基盤研究（C）、平成 26-30 年度）を研究課題とするプロジェクトの研究代表者として、次の 3 点を中心とする研究活動を行った。</p> <p>（1）イラン・イスラム共和国テヘラン州内において口承文芸に関する調査を行った。以前の調査における不明箇所の確認調査を行うと同時に、伝説や俗信の事例を中心に新規に調査を行った。哀悼儀礼が行われるモハラム月を間近に控えた時期であったため、その準備に関する資料も収集した。</p> <p>（2）以前に収集した資料の構造化に係る作業を行った。この作業においてはペルシア語の知識を有する大学院生の補助者を活用した。</p> <p>（3）口承文芸としてのイランの怪談についての研究を進め、その成果の一部を「イランの憑霊譚」としてまとめた。イランには、憑霊モチーフを核モチーフとする、いわば憑霊譚として類型化できる話群が存在し、その個別の事例の中には、さらに同じ話型として類型化できる話群が少なくとも 3 種類はあることを明らかにした。その内容は、『イラン研究』第 14 号（大阪大学大学院言語文化研究科言語社会専攻（専攻言語ペルシア語）、平成 30 年 3 月刊行予定）に掲載される予定である。</p>	